

ものづくり補助事業成果事例

3Dプリンター導入による
3D一貫開発体制の構築と生産管理

平成24年度ものづくり補助事業を活用して構築した「自動化機器の高機能最適開発力と生産管理能力強化事業」をさらに発展、進化させることを目的とし、平成25年度は、3Dプリンター導入と3Dのコンピューター支援設計（CAD）および生産管理システムの機能強化を目指しました。

事業取り組みの経緯

平成24年度ものづくり補助事業を活用して、3DCADや業務の生産管理システムを導入し、設計の効率化や生産工数およびコスト削減など、全社的に一定の成果を収めることができました。しかし依然として、3Dの部品製作は外注業者に頼らざるを得ない状況が続き、製作時間やコストがかかっていました。また、受注と販売は別々のシステムで管理しており、営業と製造でそれぞれデータ入力の手間がかかり、製販連携がスムーズに実施できないなど課題が見えていました。



導入した3DCADのデータを活用してマシニングセンターで3D加工

実施内容

平成24年度補助事業で導入して運用していた3DCADシステムに、バージョンアップや、機能、ライセンスの追加、ネットワーク環境の強化などを行いました。3Dプリンターとの連携を図り、3DCADの高次元での活用を推進し、3DCADからダイレクトに出力することができる樹脂造形型の3Dプリンターを導入しました。また、生産管理システムは、営業から出荷、請求まで一元管理運用できるシステムへと移行することで、製販の連携機能強化を目指しました。

事業取り組みの成果

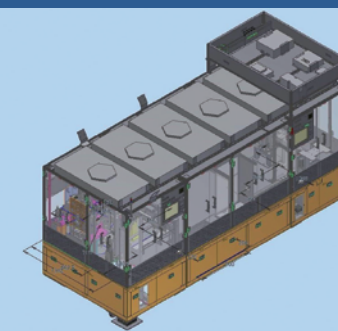
初年度の売上や利益などは課題が残りましたが、社内での試作製造が簡単に出来るようになりました。三次元データからダイレクトな造形が可能となったことで、試作

高度化事業



補助金活用のポイント！

お客さまの、仕様書からのモノづくりを、迅速に、高確度でお手伝いします。お客さまの生産設備導入に対応する設計・製作・設置の一貫生産体制を確立しています。



求める事業パートナー及び支援策

長年半導体関連省力機器の設計製作に取り組み、技術を培いました。その技術を生かし、今後は自動車業界や新エネルギー業界、医療機器業界などへも事業拡大を目指します。3DCADと3Dプリンターによる3D一貫開発体制と、製販一元化生産管理システムを生かしてお客様のニーズに対応します。

3Dプリンターや生産管理システムの年間保守契約料が高額であるため、それに対する補助制度があれば活用したいと考えています。

受注生産だけでなく
自社製品の開発も目指します。
福祉や介護、スポーツなどの分野で
製品開発にも取り組んでいます。

品の内作化が可能となり外注コストの抑制や製作時間の短縮、製品の技術的レベルアップにつながりました。また、生産管理システムは見積もりや販売、在庫などに自動メールオプションの追加導入を行いました。営業から出荷、請求まで一元管理できる製販連携機能の強化を実現できました。



導入した3DCADのデータを活用して丸物部品加工

COMPANY PROFILE

株式会社 アラオ

代表者名 代表取締役社長 荒尾 淳
設立年月 1970年4月14日
所在地 〒861-4144
熊本県熊本市南区富合町釈迦堂 388
TEL 096-358-7010
FAX 096-358-8045
URL <http://www.araotech.jp/>
資本金額 3000万円
従業員数 46人
業種 製造業



代表取締役社長
荒尾 淳さん

平成25年度ものづくり補助事業で導入した3Dプリンター
「とても役に立っている」と荒尾社長